

## 2003年度 第4回 運営委員会議事録

日時：2003年11月1日(土) 9:30～12:00

場所：バーズ教育センター 第2会議室(107教室)

出席者：大谷運営委員長、後藤副運営委員長、齋藤総務担当運営委員、福田副総務担当運営委員、岩淵会計担当運営委員、矢橋校長、館野運営委員、アントナッチ運営委員、松本運営委員、小松商工会教育部長、村野事務長

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・齋藤総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・大谷運営委員長  
日本からの教育関係者の方々の訪問を受ける機会がこのところ多くなっている。  
アトランタ補習授業校は、運営が良く行われている補習校のモデル校としての存在  
になっているようです。

### 報告・確認・協議事項

#### A. 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 矢橋校長

##### 在籍者数の報告

11月1日今日現在の児童生徒数は404名。4月当初444名でスタートしたので、その時点より40名の減となっている。但し、昨年度の9月現在と比較すると、増減は1名のマイナスで、安定している。

##### 主任会の報告

10月18日の会合で、子ども達の様子は概ねOK。生徒会も活動を始めた。ユニセフの募金を行ない、76,24セント集まっている。

図書委員長も参加し、委員会より「読書の木」制作についての依頼があり了承。児童生徒の読書を奨励する一助とする。

##### 行事関係の報告

###### オープンハウスについて

ボランティアの活動に感謝。指導案の配付係りも概ね好評。子どもと生徒会の挨拶が良かった。時間割、特別活動の時間帯の再検討。リフレッシュ、プレゼンテーションの参加方法、リフレッシュの在り方など再検討をしてほしい。

###### ブックフェア - の時間帯(11月15日)

学年部で相談し、図書委員の協力を得、多少時間帯を変更。

###### 30周年記念行事について

原案でOK。今後は学年部の意見も吸い上げていく。

###### 幼稚部の教室変更について

教室を変更した結果、広くなり使いやすくなった。オープンハウス時も広く感じた。

##### 漢字検定について

漢字に関して、子どもの能力に応じた具体的な目標と興味、段階を追って学習する意欲が向上すると考えられ、実施したい。技能検定で資格の一つとなっている。国内、海外でも多数の学校で実施しており、北米の補習校でも6割が実施している。(派遣教師のいる学校)国内で入試優遇校や単位認定校も多い。(1148校)

検定予定日： 2004年2月7日 土曜日 放課後を利用

場所： ジョージア日本語学校

費用： 受益者負担(詳しくは、申込み用紙に記載)

試験内容：2級から初10級まで。1級・準1級は日本でのみの受験となっている。

受験者には検定内容結果通知。合格者には合格証書と合格証明書が届く。

本校の支援校である派遣教員のいない近隣補習校、聖学院へもよびかける。一般の参加については、本年度は本校在校生保護者のみの参加とする。申し込み期日が12月27日必着となっているので、早急に手続き、保護者への案内を配付する。受験者については事前に練習問題を配りたい。  
「運営委員会承認」

B. ジャパンフェストバザーの報告と総括・・・・・・・・・・・・・・・・小松商工会教育部長  
協力いただいた学校関係者、運営委員の方々、ボランティアの父兄の皆様にお礼を申し上げます。

収支報告

売上金：\$4,052.42（経費 \$1,929.42 日本からの運賃を含む。）

収 益：\$2,123.00

反省と引継ぎ事項

- 商工会と学校関係者とのコミュニケーションを明確にしておく。
- 今後は、商工会教育担当部長で保護者の方にパイプ役として、参加していただきたい。
- ボランティアの募集は、学校関係で人員を確保できた。ボランティアの入場券などの配付は今後も必要。
- バザー品の確保については、もっと多くの方の参加を呼びかける。
- 当日のボランティアの職務説明を来年度は徹底したい。
- 中・高生の売り子の活躍がありがたかった。
- ボランティアの方々への飲み物の支給をすべきだった。
- 無事故、無トラブルで終えることができた。
- 来年度への位置付け、形態は別途議論していきたい。

C. グランド除草作業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 館野運営委員

前回の運営委員会で業者の見積り等の報告をさせていただいたが、本日業者が来て、第1回の除草を行うことになっている。来春まで2回から3回の除草を行ってもらおう。

D. オープンハウスの総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 斎藤総務担当運営委員

糟谷実行委員長が欠席のため、代理で配付資料に基づき説明をさせていただく。

10月18日に反省会を開催。各係りの報告をいただき、来年度への引継ぎ書を作成していただく。（各係が11月までに完了し提出）

受付・駐車場係：特に問題なし。

展示係：文化紹介、体験コーナーなど盛況で楽しんでもらった。

リフレッシュメント係：昨年度の反省を活かすことが出来た。先生方のご参加を有意義にするため、当日の学校の時間割、オープンハウスの時間割の調整なども検討の余地あり。

プレゼンテーション：昨年度の反省点が改善できた。

来賓の参加情報が保護者に伝わっていないケースがあった。

参加者の方が児童生徒の名前を記入して来ないケースがあり、保護者に連絡ができなかった。来年度は、玄関前に参加者名簿を毎週掲示したい。また、ホームページに参加者名簿の掲載も検討したい。また、事務局に直接問い合わせさせていただいてもいい。

子どもが担任に尋ねることも必要。

支出費用：11月1日現在\$1,310.28となり昨年度とほぼ同等の支出。

ボランティア、運営委員の方々のご協力に感謝いたします。

E. 図書委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・アントナッチ運営委員  
ブックフェア - の準備は着々と進んでいる。「はなみずき」で依頼した本の移動のためのトラックの手配もできた。当日は、ベークセールも併せて行う。来週、ブックフェア - のチラシを朝、車で送り迎えする保護者に配りたい。  
前回の主任会に出席し、「読書の木」の説明をさせていただき、主任の了解を得ることができた。主旨は子供達に一口感想文を書いてもらったり、面白かった本を紹介してもらう。全生徒に紙を配り、木に貼りつけてもらう。  
寒くなったら昼休みを利用してお話会なども行いたい。  
ブックフェア - 当日は、カフェテリアの付近を駐車禁止にしてほしい。はなみずきに掲載。

F. 創立30周年記念準備委員会進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・福田副総務担当運営委員  
10月11日に準備委員会事業担当者会を開き、実行委員会を行うにあたり、30周年記念行事についての目的と今後のスケジュールにつき、協議と確認を行った。  
目的：「ジョージア日本語学校創立の意義や歴史を見直し、将来への発展を願い、今後もよりよい伝統を築き上げる」

今後の主な予定、担当者の報告に基づき、基本方針案（記念行事、記念品、記念小冊子の発行、式典、記念公開授業講演会）を検討するため本年度準備委員会を組織する。  
第1回準備委員会を11月15日に開催し、基本的方針の確立、予算配分の決定、実行委員会及び必要に応じ専門部会の編成を行う。来年度に実行委員会として発足する。  
クラス30周年記念行事委員会を特別に作る。但し、幼稚部、中学部、高等部は諸事情から選出の対象外とする。選出され委員になった保護者には、当番など免除の特典は他の委員と同じ扱いとする。  
準備委員会での案を父母総会に議案として提出する。  
商工会に対し協力を依頼するため、30周年記念の全体像を提示する。商工会の予算にも関することなので、1月までに大谷運営委員長から正式商工会に依頼をしていただく。  
準備委員会組織として、運営委員会(8名)、学校側(3名)の11名を担当者とする。  
「運営委員会承認」

G. 平成16年度教育活動計画(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・矢橋校長  
新年度の校内行事は殆ど今年度の行事を踏襲している。  
来年度は4月10日を入園入学式とする。(日本からの転勤者、国内移動者の時期を考慮)  
第2学期始業式は8月14日とする。(現地校の新年度・始業式と重なり、不都合が生じるため現地校の新学期が始まってから、日本語学校の新学期を設定)  
他の始業日や終業日を交代することも検討したが不都合が生じるため、授業日数は42回となるが、9月に集中授業期間を5週間に亘り設定し、例年と同等の授業時間を確保する。  
「運営委員会承認」

H. その他  
○ 校医としてお願いしていた紀平医師が、サンフランシスコに移動。後任の日本人医師に引継ぎをしていただく。  
○ サッカー部からの依頼で、グラウンドベンチの修理を現地校に依頼。  
○ コロンバス補習校(ジョージ州)が11月8日来校。  
○ 次回運営委員会 2004年1月24日 開催予定。

以上

